

就職活動 なにをすべきか

— 企業内定者討論会 —

環境の中で食いついていく姿勢みたいなものを学んだと思います。

梶：自分も人材業界なのでほとんど専攻分野とは直接関係ありませんが、意外と就活して思ったことは、文系職であつても理系の人材は評価してもらえるということです。「東京理科大学です」と言っただけでも人事の方々は興味を持ってくれるので、文系職の選考にも自信を持って臨むことができました。

井：なぜ大学院に進学しなかったのか教えてください。

梶：本当に正直に言いますと、もう勉強したくなかったからです。それに加えて、元々SJは院に行く人が少ないという環境もあり、就職に目を向けるようになりしました。

井：周りが就活モードになると、自分もやはり就活をする方向性になりますか。

井：院に行く人の方が多い学科だと、逆にその中で就活するのは大変だという話は聞きました。皆が院試に備えている中で就活をしていくことになると思っています。

井：就活生同士の助け合いなどもありますか。

井：やはりSJの環境として、皆が就活をしていたので、モチベーションが上がりました。特にそのあたりは良かったと思います。

井：では次に、どのように業界を決めていきますか。

佐：僕の選んだ業界は広告業界でした。それは3年間、散々数学や情報を学んできたので、これから先死ぬまで仕事としてそういうものに関わっていくのは違うなと感じたからです。そういうときに感覚的な問題ですが、広告っておもしろいな

性ならわかると思います。私がこれからどうやって生きていきたいか考えたときに、結婚もしたいし、子供も欲しいし、でも働いていたいと思ひ、転勤が比較的少ない方が良かったという理由があつたので、それもあつてSEという職種を選びました。

井：やはり業界選びでは、目の前のことだけでなく、長い期間で考えることが大切ですか。

梶：おそらく興味がない業界だとすぐ辞めてしまふと思います。ですから、自分のやりたいことは真剣に考えたほうが良いかなと思います。

井：それこそ、今から60歳までずっと同じ会社で働いていきたいのか、それともキャリアアップのために転職していきたくのかは人それぞれだと思ひ、そういうことを考えて選ぶのがポイントかなと思います。

井：志望する会社はどんな基準で選びましたか。

佐：広告業界には、代理店とネット広告の会社とMや街中のビルに貼つてある広告を見て、それらがあるの会社で作られていくのかを調べるのが良いと思ひます。ネット広告に関しては、ネットに広告を出す他の企業と一緒に仕事ができる会社に注目していました。ネット広告という業界自体にベンチャーのような流れがあるので、若いうちからたくさんの方に挑戦できると聞きました。

井：多くの人が思うことだと思いますが、僕は誰かが知っている会社に行きたいと考えていました。よく言われる大手志向のようなものが自分にもあつて、業界の中で上位の会社は絶対を受けていきました。なぜマイナビを選んだかというと、マイナビには業界1位になったサービスもあれば、成長途中のサービスもあり、より多くの分野でマイナビがナンバーワンとされるよう貢献したいと感じたからです。

井：他に決め手はありましたか。

梶：人材業界の内定はいいから、最終的に決めたい理由は、採用担当の方を始め、社員の方々と話をしていく中で社風が自分に合うかどうかや、どこまで会社について教えてくれるのかなどを踏まえてもマイナビが一番自分のことを必要としてくれ、しっかりと会社のことを教えてくれたからです。



▲討論会の様子 (左から、井上さん、梶野さん、佐熊さん、手前は記者)

井：僕は資格は取っていませんでした。面接を受けて思ったことは資格なども大切ですが、Microsoft Officeなどの日頃使うパソコンソフトを使えるようになっていくことも大切だと思ひました。実際、研修などでもそれらが重視されていて、社会人になるまでに身につけておくように言われています。

井：今まで自分がやってきたことやこれからどうやって自分が働いていきたいのか、過去と未来両方の面から自分を振り返る良い機会になりました。また、コミュニケーション能力の重要性にも気づきました。グループ面接で、ある人がすごく良いことを言っていたので、取っついて良かったと思ひます。

井：僕は資格は取っていませんでした。面接を受けて思ったことは資格なども大切ですが、Microsoft Officeなどの日頃使うパソコンソフトを使えるようになっていくことも大切だと思ひました。実際、研修などでもそれらが重視されていて、社会人になるまでに身につけておくように言われています。

井：最後に、これから就活をする人に向けてアドバイスををお願いします。

井：人と話すときは自分ばかりではなく、相手と会話することが大切だと思ひます。グループ面接で意見がぶつかることがあります。僕はその場で双方の意見のよいところを褒めてグループ内の意見が良い方向に向かうように気をつけていました。

井：ありがとうございました。今回のお話を是非就活に生かしていきたいです。